

てあひ



発行先 妙高高原 まるやま工務店 (第8号)

この度の東日本大震災および長野県北部地震により被災されました皆様に心からお見舞い申し上げますと共に皆様の安全と一日早い復興をお祈り申し上げます。

「母からもらった 夕入の肥やし…大切に便わないとね！」

こんにちは 社長の妻をしています 丸山京子です。

私にとって 幼なじみでも有り…大切なお客様でも

有る 仲良しの友人M子さんは お仕事の時よくお着

物を着ています。そんな 和服姿を拝見して「いつも上手にお着物を着ている

のねえ〜！ とても素敵よ！ お店に来られる お客様もみんな喜んでいる

でしょう…？」そう声掛けたらM子さんは「そうよ！ 皆さんにとっても喜んで

頂いているの。中には昔の着物が有るけれど 着てもらえないかしら…？」

着物は高価な物だから捨てられないし…大切に着てもらえれば嬉しい

からと 大切なお着物を持って来て下さる方もいるのよ！」そしてM子さんは



(No. 1)

私に「京子ちゃんも 私の様に お仕事の時におべべ着てみない？」
そう問い掛けてきたのでした。私はその問いにびっくり…「え、おべべ～！
おべべ着て仕事をするの～？…そんな事言われたら…現実は無理だ」と
思うんだけど～…。」もじもじと返答していたら M子さんは「何をこ
じこじ言っているの…！ 京子ちゃん！ あなた タンスの肥やし いっぱい
有るんじゃないの…？ 使わないなんて勿体ないでしょう！」そう言われて
私は 肥やし…？ 肥やして何だっけ…？（しばらく考えてしまいました。
その様子を見ていた M子さんは「京子ちゃん！ タンスの中の 肥やしだよ！」
と言うのです。その言葉に「あゝ～ 肥やし！…タンスの中の 肥やしねえ～！
有るよ～！有る有る！… お嫁に来る時に母に買ってもらった おべべの事だ
しょう！」やっと気付いた私に M子さんは 笑いながら「分ったでしょう！
肥やし… いっぱい有ると思うよ！」そして M子さんは こう付け加えたのです。
「京子ちゃん！ タンスに肥やしなんていらないでしょう？ セッかくお母さんが
買ってくれたんだから ちゃんと着てあげないと…… もったいない！ 天国でお
母さん 悲しんでいると思うよ！」その言葉に 私も「本当にそうだね～！ おべ
べちゃんと着ないとね～！… でも仕事の時は おべべでは大変だと思わねえ！」
すると M子さんは「だったら お休みの時着てみたら？… そうだ！ 今度の
お休み 2人でドライブに行こうよ！ その時 おべべ着て行けば…！」…と
言う事で 私は M子さんと 次の休日におべべを着て お出掛けする事になったのです。

さて当日 M子さんは 白色の上田紬 私はグリーンの小紋 それぞれ春らしい色のおべべを着てドライブに出発進行!! M子さんも朱の家もお互いに自営業… 休日なんて 有って無い様なもの。数年前に「女同士 気を使わない 気軽な旅でもしようよ!」と言う事で 年に数回でしたが 旅や 日帰りのドライブを楽しむ様になったのでした。何時も計画なし 予約もなしの 行き当り バツクリの行動でした。それが 珍道中の連続で どれも楽しいものでした。この日も「花が見たいね〜! たくさんの花が咲いている所へ 行きたいね〜!」と 関東方面に車を進め 横川SAのインフォメーションで 花の名所を聞き ついでに釜飯を食べ 案内された足利フラワーパークへ 藤の花を見に行つたのでした。(このフラワーパークは 1年に8つのテーマを作り それぞれ



(八重の藤)



(まばな藤)

のステージに数百株の花木が季節を色どっているのです。)藤の花といえは
日本古来の花木と言われ 万葉集にも歌われたもの フラワーパーク内には うす
べに藤、むらさき藤、大藤、白藤、八重の藤、まばな藤...それはそれは
たくさん咲いていました。世界一美しい藤と言われる大藤の花房は80cm~100cm
以上... 幼想的な世界を味わいました。又日本随一と言われる八重の藤は
ふくらしたドレスの様で... 藤の花に八重が有るなんて生れて初めて知りました。
又80mの白藤のトンネルでは優しい香りに包まれてまるでバーจินロードを歩い
ている様なうっとりした気持ちになりました。2人で「ここに来て良かったね！」

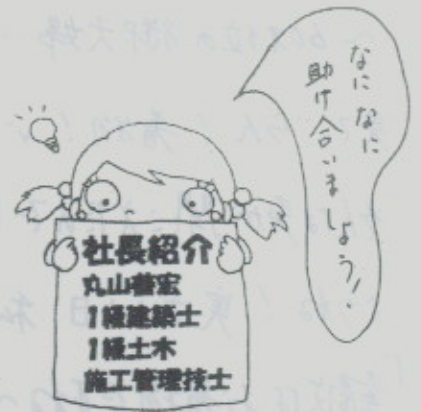


(むらさき藤)

と感動しながらフラワーパークを回っていた時 前方から歩いて来られた 50才
～60才位の御夫婦… 私達とすれ違い際に タジナ様か奥様に「ほう
見てっらん！ 着物！ いいね～… お前も今度着物を着てみたら…？」
そんな声が聞こえたのでした。まじと愛する奥様の着物姿が見たかっただけでし
ょうね！ 実はこの日 私達2人は あちらこちらで声を掛けられたのでした。
「素敵なお着物ですね～！」 「何時もお着物で出掛けるんですか～？」 「何処
から来られたんですか？」 みなさん 私達に興味津々の様子。それだけでなく
その後 何回か出掛けるたびに季節に合った着物を着ていたら 何処へ行っても
親切にして頂いて… こんなに良くして頂いていいのかしら??？ という程だった
んです。例えば… 駐車場の空きを車を成して待っていると 前方から係員の方
が来られ 横に立て有った“満車”の看板をすらし 私達の車1台だけ駐車場の
中に入れて来たり…。ガソリンスタンドに入れば「へい、いらしゃい!!」の掛声
でなく わざわざ車の窓際迄来て「お客様 いらしゃいませ！ こちらへどうぞ！」
とまるでホテルに入った様な… おまけに窓ふきは他の車の倍以上の時間…
その間 私達は 店内でお茶のサービス。ある旅館では「このお血良いですね！」
の言葉に「良かったらお土産にどうぞ！」と頂いてしまったり… 着物の力、ですごくですね！
でもこれは2人で着ていたので効果が有ったんだと思うんですよ！ あなたも お友達と
素敵なおべべ着て何処か出掛けてみませんか？ まじと良い事が有りますよ！



4月17日に常会の人達と高田公園に花見に行き、来た時の写真です。友人と一緒にあぼけやきに入ったら小さい子供に抱きつかれました。あぼけより私の方が優しく見えたんでしようかね…？



社長からひと言・・・助け合いの気持ち大切ですね。

3月11日14時46分頃 三陸沖を震源に 国内観測史上最大の M9.0の地震が発生しました。津波や火災での 多くの死傷者 さらに福島第一原発の放射能漏れ事故 連日の震災報道に さすがに心が痛くなり 何とかしなくては・・・そうゆう気持ちになりました。

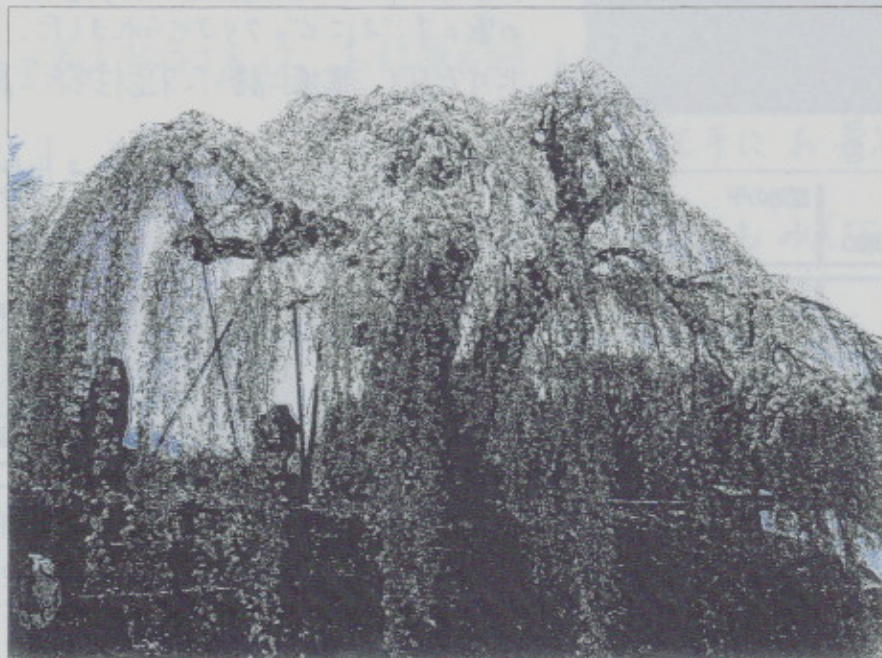
9年前から 友人のU君（長野市内在住）に誘われて 健康食品の会に入会し 毎月妻と二人で健康セミナーに参加し 健康の勉強をさせて頂いておりました。そんな中 今回の震災で友人のU君に 同じ会で宮城県在住のH氏から 食料品がまったく入らず困っているのですが・・・何とかならないでしょうか？とのSOSが入ったとの事 その言葉に私と友人のU君は 食料品を集めて送る事にしました。ところが長野県や新潟県の地域でも すでに食料の買占め現象が現れておりました。しかし何とか届けなければとの気持ちで必死に集め回り 漸く夜に車を走らせる事が出来ました。長野～妙高～長岡～宮城まで 会員さん達の協力リレーで 無事届けてあげる事ができたのでした。その後Hさんから友人のU君にお礼のメールが入り その内容はこうでした。

(No. 6)

まるで時間が止まった様な一ヶ月間でした。今でも余震の度に あの時の悪夢が蘇ります。医師 看護師 米海兵隊 各国の支援隊 ボランティア・・・本当にあり難い働きにより 着実に復興に向かって動き始めております。まだまだ大変な問題が待ち受けておりますが 被災者の皆さんは生活の為に遅く動き出そうとしておられます。丸山さんのグループからの援助 あの混乱の最中 大量の貴重な物資をお届けください 食べる事が生きる事の状況でどれほど助かった事が 表現する事が出来ない位でした。丸山さんとじさんの想いを添えて 多くの人々に配らせて頂きました。涙ぐんで受け取ってくださる人 合掌して受け取ってくださる人 表現は様々ですが これほど人の温かさと勇気を頂いたと感じた事はありません。この事は 私達の心のなかで一生忘れられない 感謝の気持ちとして残る事でしょう。本当にありがとう御座いました。

この感謝の言葉を聞き ただ食料品を購入して送っただけの事が それがこんなにも多くの人々の切なる願いだったとは・・・私は胸が熱くなり 思わず涙してしまいました。助け合いの気持ちって本当に大切なんです。頑張れ日本！助け合おう日本！私達に出来る事 これからも応援していきたいと思っています。

長野県飯綱町 袖山の枝垂桜



(No. 7)

頑張っ...耐えて...残りまた、FPの家

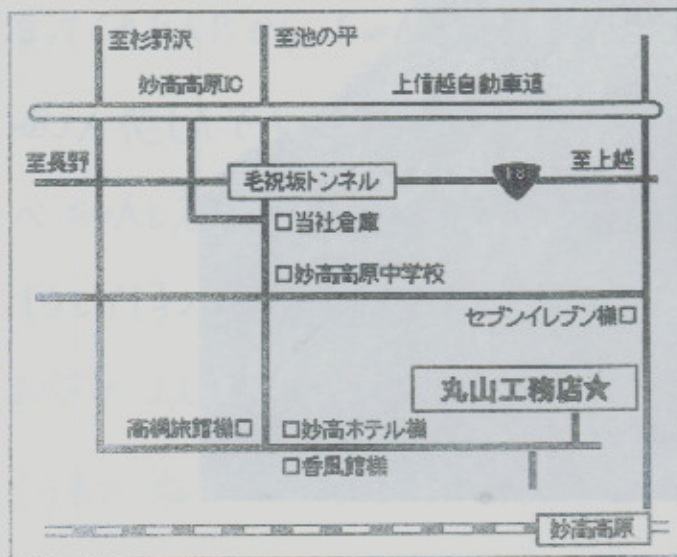
岩手県...周囲にあった家が一軒もなくなつた状況下で



平成14年に建てられたFPの家です。様々な要因があつたことではありますが.....周囲にあつたたくさんの家が一軒もなくなつてしまつた中、奇跡的に残つた事実のお知らせです。



FPJ-ポレーションが避難所にIXパネル(FPの家に使用されているパネル)を奇贈したところ...避難者のかたより「暖かくてとても良い」「敷いた夜からぐっすり眠れる様になりました」など大変嬉しい声を頂いたそうです。この被災現場の写真を見て、改めてFPの家のすごさにビックリさせられました。これは奇跡だけでなく津波に勝つた構造住宅だと感動しました。



まるやま工務店

妙高高原

信頼を大切にしたい家づくり



発行：株式会社丸山工務店

担当：丸山京子

住所：〒949-2112

新潟県妙高市大字関川662-8

TEL：0255-86-2341

FAX：0255-86-2421

<http://www.mk-home.info/>

E-mail：marukou@aj.wakwak.com

(No. 8)